

&lt;JMITUホームページ&gt;

「http://www.jmitu.com」

&lt;JMITUオハラ樹脂工業分会 Eメール&gt;

JMITUオハラ樹脂工業分会への文書送付、ご意見、  
問い合わせは「jmitu\_aichi@roren.net」へ。

## Eメール交渉ニュース

発行所

JMITU（日本金属製造情報通信労働組合）

オハラ樹脂工業分会

〒457-0841 名古屋市南区豊田五丁目17-10

「オハラ樹脂工業分会ホームページ ※組織外、  
http://www.roren.net/jmiu/ojk-union/index.html」 無断転載禁止

# 年末一時金、「賞与の支給はない予定です」と社長

2020年  
12月16日

## 当労組

（2）また、「貴組合は『昨年末及び本年夏季一時金について、今だ解決をみておりません』と記載しておられますが、現在、交渉を要する課題はありません。」とは、全く意味不明であります。そもそも団体交渉は、「労・使（資）」という利害が相反する立場の関係者が、労働条件向上を巡って、立場の違いを認めた上で合意点を求めるものであり、合意していない「課題」は、合意に至るまで互いの立場を尊重しながら誠実に協議を重ねることです。会社が「応じられない」と答えたから「課題」が消滅するものではありません。「課題はありません」とは、何を言いたいのか、全く意味不明であります。

当労組と致しましては、上記について本年12月21日開催の団体交渉における追加の議題とさせて頂きます。

貴社令和2年「年末一時金要求書」につきまして」と題する書面につきまして、下記の通り当労組の見解を申し上げますと共に、当労組の意図するところを誠実に検討され、誠意ある有額回答を示されるよう強く求めるものであります。

（1）「賞与は経営成績に応じて支給することがあり、また支給する場合は査定期間中の勤務実績等を審査して決定することとなっております」について申し上げますと、労働基準法はその第1条で「労働条件は、労働者が人たるに値する生活を営むための必要を充たすべきものでなければならぬ。」と定めており、毎月の賃金では到底「人たるに値する生活を営む」ことはできていません。同法はまた、同条第2項で「この法律で定める労働条件の基準は最低のものであるから、労働関係の当事者は、この基準を理由として労働条件を低下させてはならないことはもとより、その向上を図るよう努めなければならない。」とも定めています。毎月の賃金が不足しており、その後払いとしての性格を持つ一時金は、とても「賞与」などと言えるものではなく、当労組は、「生活を維持するために必要な費用」と考えるからこそ要求しているところであります。そして、経営者には要求に対して誠実に応える義務があるのですから、「支給はしない予定です」などという回答は許されるはずがないのです。

（2）また、「貴組合は『昨年末及び本年夏季一時金について、今だ解決をみておりません』と記載しておられますが、現在、交渉を要する課題はありません。」とは、全く意味不明であります。そもそも団体交渉は、「労・使（資）」という利害が相反する立場の関係者が、労働条件向上を巡って、立場の違いを認めた上で合意点を求めるものであり、合意していない「課題」は、合意に至るまで互いの立場を尊重しながら誠実に協議を重ねることです。会社が「応じられない」と答えたから「課題」が消滅するものではありません。「課題はありません」とは、何を言いたいのか、全く意味不明であります。

当労組と致しましては、上記について本年12月21日開催の団体交渉における追加の議題とさせて頂きます。

2020年  
12月14日

## 会社側

貴組合本年12月3日付「年末一時金要求書」との書面を受領しました。当社は、正社員（年棒者を除く）の賞与は経営成績に応じて支給することがあり、また支給する場合は、査定期間中の勤務実績等を審査して決定することとなっております（賃金規定（正社員版）第6章第1条）。当社の経営状況に鑑み、本年の年末賞与の支給はしない予定です。

貴組合は「昨年末及び本年夏季一時金について、今だ解決をみておりません」と記載しておられますが、現在、交渉を要する課題はありません。

12月15日から17日のいずれかの日程での団体交渉とのご要求につきましては、いずれの日程も不都合です。

2020年  
12月3日

## 当労組

当労組は年末一時金について、下記の通り要求致します。つきましては、従業員の家計に充分想いを寄せられ、使用者としての責任を再確認の上自覚を深められ、積極的なご回答を、本年12月10日（木）までに文書で為されるよう求めます。

1 当労組、本年年末一時金に關し、以下の通り要求致します。

（1）本年年末一時金は、基本給の3ヶ月分を、一律に支給されるよう求めます。

（2）昨年末及び本年夏季一時金について、未だ解決を見ておりません。誠実に対応され、積極的なご回答を求めます。

2 上記についての団体交渉を、本年12月15日、同月16日、同月17日のうち何れかで、18時30分より貴社本社3階食堂にて開催されるよう求めます。